



ナリン州アト・バシ地区におけるエッセンシャルオイル製造工場の開設式典

7月21日、前田大使はナリン州に出張し、令和元年度対キルギス無償資金協力「新規ビジネスを通じた貧困層及び脆弱な立場にある小規模農家の所得及び生産性向上計画」（WFP 拠出）の枠組みでアト・バシ地区に開設された、エッセンシャルオイル製造工場の開設式典に出席しました。

本工場は、JICA 技術協力「一村一品運動」の工場に指定されています。

本案件は、ナリン州とバトケン州の小規模農家に対し、植物の加工機材を供与するとともに、WFP と JICA の専門家が商品の開発から販路拡大に至るまで包括的な研修を提供し、もって地方部住民の経済的自立に寄与するものです。

ナリン州においては、約54万ドル分のハーブ加工機材が供与されたほか、1,000人の生産者に対する研修が実施されます。

前田大使は、当たり前前に存在していると思われるものに実は価値があり、まさにナリン州の豊かな自然がその例で、これを商品化して収入と雇用の機会を創出するのが、このエッセンシャルオイル製造工場であると述べました。



